

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会

令和5年9月12日(火)

明健中学校区「地域教育懇談会」を開催しました

明健中学校区「地域教育懇談会」を9月12日(火)午後6時30分から富久山公民館で開催しました。小学校、中学校、幼稚園、保育所の保護者や教職員、地域の皆様など、約50名の参加がありました。

前半は、小野義明教育長のあいさつに続き、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。

後半は地域コーディネーターやPTA役員の皆様の司会のもと、学校・地域・教育委員会による熱心なグループ協議が行われました。

グループ協議

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

1人1台タブレット端末を活用した授業の推進、事故等発生件数とその対応、「安心・安全」に向けた地域との連携等

学校管理課

体力向上のための学校体育の充実、部活動等の在り方に関する指針、コミュニティ・スクール、働き方改革等

教育研修センター

教員研修の推進、ICTを活用する環境の充実、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

学校不適応児童生徒への個別対応、いじめ問題や虐待等の対応に向けた体制の整備等

後半のグループ協議では、明健中学校区の小学校・中学校から、現在の学校の取組を中心に話題を提供していただいた後、3つのグループに分かれ、様々な立場、視点からの活発な意見交換が行われました。

明健中学校区4校からの話題提供

【小泉小学校 安津畑良行校長先生】

- 情報モラルについて〈A・Bグループ〉
- 部活動の在り方について〈C・Dグループ〉
- これからのPTA活動について〈E・Fグループ〉



地域の皆様から御意見をたくさんいただきました！

<A・Bグループ>

- ・小学生の半数がスマホ・携帯電話を所持し、中学校入学を機に持たせる家庭もある。とても便利だが、長時間使用による健康面での心配がある。使い方を学ばせたい。
- ・スマホ・携帯電話使用のトラブル防止のため、学校においては情報モラル教育を学年ごとに年間指導計画に位置付けて実施している。子供は大人の利用を見ているため、家庭での会話やルール作りが大切である。家庭におけるルールの差があるため、学校と家庭が連携して取り組む必要がある。
- ・GIGAワークブックこおりやまを活用しながら情報モラル教育を進める。

<C・Dグループ>

- ・学習と部活動のバランスの取れた学校生活が送れていて、ありがたい。
- ・個人種目への加入が多く、種目により部員数の偏りがある。そのため他校との合同チームでの大会参加となった。
- ・熱中症に対しては、市教委からの通知をもとに対策を行っている。
- ・先生方の指導力にも偏りがある。地域移行や外部コーチなど、週末に毎回指導してもらえるのか。外部コーチとなると生徒指導面での不安がある。
- ・地域移行化に向けて市教委でガイドラインを作成してもらいたい。
- ・今後、クラブチームも中体連に参加できるように整備中である。

<E・Fグループ>

- ・PTAで行事等の人集めを受け持つのは負担が大きい。
- ・PTA役員の会合を極力減らした。また、マチコミで事前に議題を知らせることで会議時間を短縮し、ペーパーレスにもなった。
- ・PTA活動が3年間なかったため、PTA活動を見直す良いタイミングになった。
- ・保護者の生活スタイルが多様化しているため、PTA活動を精選しながら行う必要がある。
- ・PTAに加入しない人が増加している。
- ・PTAの作業や役員の負担の軽減が必要。

➡ グループ協議では、貴重な御意見をたくさんいただくことができました。今回の地域教育懇談会がきっかけとなり、学校・家庭・地域の連携がますます図られますよう、今後も御協力をよろしくお願いいたします。